

学習指導略案

1 題材名 「そのいじり、大丈夫？」

2 ねらい NHK 教材を利用し、「いじり」の必要性や、相手の表面上の対応と、見えない心境に違いがあることを認識し、相手を大切に作る姿勢を育むとともに、人との関わり方を学習する。

3 準備物 タブレット (NHK for School「その“いじり”大丈夫？」)

4 本時の展開

時間	学習内容 (予想される生徒の反応)	指導上の留意点
導入 (5 分)	① 「いじりは必要か？」について考え、意見交流する。 ・ 必要→場の空気 (雰囲気) が良くなる コミュニケーションの一部 ・ 不要→相手を傷つけている いじめにつながる ② 本時のめあてを確認する	・ 心の中では必要だと思っていない生徒がいる。 ・ 場の空気 (雰囲気) から、嫌だと言えない。 ・ 顔、体、家族のことなど、言われて嫌ないじりもある。 ・ 「いじり」が「いじめ」につながることを認識させ、いじめの定義を確認する。
めあて：いじりは必要なのか考えよう。		
展開 (35 分)	③ (発問 1) 「いじりってどんなもの？」 →人を使って笑いをとること ④ (発問 2) 「どうして、誰かをいじるのか？」 →楽しい、場の空気がよくなる、コミュニケーション ⑤ (発問 3) 「許されないじりって何だろう？」 →顔・体型・名前に関すること 家族のこと ⑥ 映像資料を見る。(10 分)	・ 生徒の意見を交流させながら、いじったり、いじられたりしたときの心境を考えさせる。 ・ 「いじり」を根底から否定するのではなく、相手のことを考え、尊重することの必要性に気づかせる。 ・ 全員が話し合いに参加できるようにさせる。 ・ 自分や周りのことを考えながら、「どのようないじりは許されないのか」を考えさせる。
まとめ (10 分)	⑦ 「いじり→いじめにならないためにはどうすればいいのか？」について考える。 ・ 自分がいじられている、いじっていることをふまえて、いじめに繋がらないようにするために、どうすればよいのか考える。 ⑧ 今日のふりかえりを書く	・ 「いじり」が気づかないうちに『いじめ』に発展するケースが多く、生徒にその実態に気づかせるとともに、これからどのようにすることで『いじめ』をなくしていけるのかを考えさせる。 ・ 「いじり」が必要だという生徒の主張も受け入れつつ、それでも全てが許されるわけではないことに気づかせる。